

北九州

3/1
2017
平成29年 No.1285



市政生活情報や申請窓口の問い合わせ
北九州市コールセンター
☎671-8181 年中無休
8時~21時

夜間・休日の病気やけがについて
☎522-9999

粗大ごみ受付センター
☎592-5300

安全・安心総合相談ダイヤル
☎582-2428

編集・発行 北九州市広報室広報課
〒803-8501 北九州市小倉区城内1-1
☎582-2236

市政だより

北九州市ホームページ <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/>

トピックス 「改正道路交通法を施行」など……………	234
「市政テレビ」「福北連携コーナー」……………	4
好きっちゃ! 北九州 ひまわり「学芸員 御前明洋さん」など……………	5

※最終ページは若松区の情報

【人口】(平成29年2月1日現在)
95万4751人
 男44万9739人／女50万5012人
 世帯数 42万7297世帯

大切な命のために 守ってほしい交通ルール

特集 高齢者の交通安全

全国的に交通事故の死者数は減少傾向にある一方で、高齢者が占める割合は年々高くなっています。さらに、近年では、高齢者が事故の被害者だけでなく加害者になるケースも多発しています。そこで今回は、高齢者の交通安全について特集します。

本市の交通事故発生状況

市内での交通事故発生件数(平成28年中)は7729件、負傷者数は1万517人でした。また、死者数16人のうち高齢者は9人と、全体の半数以上を占めています。この原因の一つに、本市が政令指定都市の中で最も高齢化が進んでいることが挙げられます。こういった状況の中、今年度から始まった第9次北九州市交通安全計画では、高齢者の安全確保を特に重点的に取り組むようになっています。

事故に遭わないために

高齢歩行者の事故の多くは、道路横断中に起きています。道路を横断する



▲横断歩道や信号機の無い場所での横断は危険です

時に事故に遭わないため、次のポイントに気を付けましょう。



▲信号は青でも右左折してくる車に気を付けましょう

- 必ず横断歩道や信号機のある場所を横断しましょう。
- 急に道路に出ると危険です。ドライバーから見えない、安全な場所で必ず一度止まりましょう。また、青信号が点滅し始めた時は横断を始めるに止まりましょう。
- ドライバーが歩行者に気付いているとは限りません。走ってくる車が見えた時は、通り過ぎるのを待ちましょう。

加害者にならないために

平成28年中に高齢ドライバーが加害者となった交通事故の発生件数は、1513件。高齢ドライバーが交通事故の加害者となるケースが増加しています。高齢ドライバーの事故原因の特徴は、加齢による危険認知の遅れ、突発的な判断力の低下、注意力や視覚・聴覚機能の低下などと言われています。事故を起こさないために、次のポイントに気を付けましょう。



▲明るい色の服装や反射材の着用をすることでドライバーに気付かれやすくなります



▲道路や周囲の状況に応じた安全な速度で走行しましょう

身体機能は、本人が思っている以上に変化しています。物忘れが多くなったり、運転に自信がなくなった時は運転免許証を返納することも一つの方法です。加齢による身体機能の変化は、本人では気付かない場合もあるので、家族でいつもと違うことや気になることがないか注意しましょう。



▲心のゆとりを持って安全運転を心掛けましょう

- 十分な車間距離をとりましょう。十分な車間距離の目安は、前の車がある地点を通過してから3秒後に自分の車がそこを通過する距離です。
- 道路や周囲の状況に応じた安全な速度で走行しましょう。速度が上がると視野が狭くなり、夜間や雨天時は視界が悪くなります。また、街灯が少ない道や他に車両の通行のない道路を通る時はハイビームをつまき使いましょう。
- 見通しの悪い交差点では、徐行や必要に応じて一時停止をしましょう。